



かまいいし

令和3年3月15日
釜石市教育委員会

釜石市鈴子町15-2
TEL 22-8832
FAX 22-3633

令和3年度 教育行政方針演述

令和3年3月釜石市議会定例会において、高橋 勝教育長が述べた「教育行政方針演述」の主な内容をご紹介します。

東日本大震災から間もなく10年が経過します。教育委員会としては、この10年間、子どもたちの笑顔と元気に頑張る姿が、釜石の生きる希望、復興の灯となることを願い、子どもたちに当たり前の日常を取り戻すこと、震災でつらく悲しい思いをした子どもたちの心のケアに努めること、そして、子どもたちが、夢と希望を持ち困難に負けず自らの未来をたくましく切り拓き、釜石市の復興と将来のまちづくりを担つていけるよう「強く生き抜く力」の育成に取り組んでまいりました。

子どもたちは、市民の皆様・地域の皆様に見守られながら、感謝の心を持ち、一歩一步、前に進んでまいりました。その歩みが1つの形となつて表れたのが、昨年度、9月25日に釜石鶴住居復興スタジアムで開催された「ラグビー ワールドカップ2019日本大会

岩手・釜石開催」フィジー対ウルグアイ戦での市内全小中学生による「ありがとうの手紙」の合唱です。今年度は、釜石市内全小中学生で組織する「かまいいし絆会議」の提案により、9月25日を「絆の日」と定め、各小中学校で、「ありがとうございましたの手紙」を合唱したり、あいさつ運動を行つたり、地域のゴミ拾いやお世話になつた地域の方々に感謝の手紙を渡すなど、絆を深める取組が行われました。釜石の子どもたちは、優しく、たくましく成長しています。

令和3年度からは、新たに策定された「第六次釜石市総合計画」に基づきまちづくりが行われます。その初年度となる令和3年度は、この10年間の復興への取組の中で改めて実感した、「子どもたちは未来の希望である」「子どもたちの笑顔を守ることが教育の使命である」という思いを引き継ぎながら、「第六次釜石市総合計画」に掲げている「未来を担う子どもたちの育成」「子どもたちを育む

生命力があります。未来への夢と希望があります。保護者の皆様、地域の皆様とともに、子どもたちの内なる生命力を育み、可能性を伸ばし、生きることに喜びを感じる子どもたちを育ててまいります。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| (1) 家庭・地域と連携・協働した教育活動の推進 | (2) こころのサポートの推進 |
| (3) 豊かな心の育成 | (4) 確かな学力の育成 |
| (5) 健やかな体の育成 | (6) 特別支援教育の充実 |
| (7) 生徒指導の充実 | (8) 幼・保・小の連携と小・中連携の推進 |
| (9) キャリア教育の推進 | (10) 社会の変化に対応した教育の推進 |
| (11) I C T 教育の推進 | (12) 国際理解教育の推進 |
| (13) 教職員が子どもと向き合う時間の確保 | (14) 学校給食の充実 |
| (15) 学校施設の整備 | |

【学校規模適正化検討委員会】を設置しました。

当市においては、少子化が進み、児童生徒数の推移を見ても減少傾向にあります。

当市の実情に応じた児童生徒にとつて望ましい教育環境の在り方について検討を行うために、保護者、民間の方、学校関係者等で構成する「学校規模適正化検討委員会」を設置いたしました。

今後、検討を重ね、釜石市小・中学校適正規模・適正配置基本方針の策定を行つてまいります。

【施策の大要】

懸念されますが、引き続き感染防止に努めながら、コロナ禍の中で学校生活になりました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症による子どもたちへの様々な影響が

送れることができるよう、学校教育の一層の充実を図つてまいります。

子どもたちは、この10年間の復興への取組の中で改めて実感した、「子どもたちは未来の希望である」「子どもたちの笑顔を守ることが教育の使命である」という思いを引き継ぎながら、「第六次釜石市総合計画」に掲げている「未来を担う子どもたちの育成」「子どもたちを育む

かまいし・絆会議 ～未来への第一歩～



発表に聴き入る児童生徒の様子

令和2年12月25日に第一回かまいるし・絆会議の本会議が釜石市民ホールTETTOで開催されました。中学校のリーダーが入れ替わるこの時期の本会議を第1回目と数え実施しています。

今回初めて参加するという児童生徒もあり、少々緊張気味の雰囲気も感じられました。

会議は今回・絆会議の会長となつた甲子中学校の菅原優作さんとおなじく副会長の菊池音乃さんを中心、様々な議題について話し合いが行われました。

『1年間の活動テーマ（合言葉）を確認』

今回より、かまいし・絆会議の

テーマ（合言葉）を決めて、1年

間の活動を進めていくこととなりました。

会員ひとりひとりがより

自覚をもつて行動し、活動への意

識をより向上させることを目的と

しています。今回のテーマは『つながり』と決まりました。コロナ

禍だからこそ、人ととの結びつきを大切にしたいという思いが溢

れるテーマとなりました。

『つながり』を意識した地域のための活動について

絆会議のテーマである『つながり』を意識した地域のための活動

について、それぞれの中学校区で話合いを行い、発表しました。

「地域の清掃活動」や「お世話になつている方々への感謝の手紙を贈る」、「小中合同での挨拶運動」、「ありがとうの手紙を地域に発信する」や「医療関係者へのメッセージ」など、コロナの状況も意識し

た活動内容となりました。今後さらに中学校区内で話合いを進め、活動の詳細について検討していくこととなっています。また活動の際は、ぜひ地域の皆様方に応援していただき、活動のご協力をいたただき、幸いです。



話合いの内容を模造紙にまとめる様子

『震災から10年 かまいし・絆会議からのメッセージ』

今年で震災から10年を迎えます。かまいし・絆会議はまだ4年目の組織ですが、昨年度のラグビーワールドカップ開催に向けた取組などで大きな成果を残すことができました。また、地域のための活動を推進し、その実践に日々取組んでいます。そこで、震災から10



中学校区ごとの話合いの様子

年を迎えるこの節目に、かまいし・絆会議からメッセージを発信することはどうでも意義があると考え、メッセージ作成に取組むこととした。

メッセージは5つのテーマで構成され、「かけがえのない命／いきる／」「つながり・絆／かかわる／」「防災／そなえる／」「感謝／未来へ」となっています。5つのテーマをそれぞれ5つの中学校区で担当し、それらを併せてひとつつのメッセージとなるようにしました。

完成したメッセージは、学校内だけでなく、広く地域の皆様方にも読んでいただけるよう、発信していくきます。

教育委員会では鵜住居小学校をモデル校に指定し、フッ化物洗口の実施を行いました。

コロナウイルス感染症拡大防止の視点から、実施時期を延期していましたが、2月12日に十分な感染症対策を講じながら、実施いたしました。フッ化物洗口は、10mlの洗口液を口に含み、30秒間ブクブクうがいをするものです。歯ブラシがなかなか届かないところに作用し、虫歯を予防する効果があるといわれています。

鵜住居小学校でのモデル実施

鵜住居小学校では、登校後の朝の時間に実施しています。子どもたちは、先生の話をしっかりと聞き、落ち着いた様子で、上手にブクブクうがいをしていました。今年度は、あと4回ほど実施し、来年度も1年間モデル校として実施する予定です。



幼稚期の学びと 小学校教育の円滑な接続に向けて

幼児教育は、子どもたちが生涯にわたって、心豊かに、たくましく生きるために基盤となる力を育むものです。

幼稚期の遊びや生活を通して遊びを小学校教育に円滑につなぐことは、遊びの連続性を確保することにつながります。また、子どもたちが自信をもつて主体的に自分の力を発揮しながら遊びに向かうことを可能にします。



制作に集中する園児の様子

教育委員会では円滑な学びの接続に向けて、今年度は小佐野小学校を会場に、「幼保小連携研修会」を実施いたしました。

市内の小学校（主に1年生の担当）の先生方が参加し、1年生の授業参観ならびに研修を行いました。

今後も教育委員会では、幼稚

担当）幼児施設（主に5歳児の担当）の先生方が参加し、1年生の授業参観ならびに研修を行いました。

授業参観では、入学後の子どもたちの姿を見ることができ、小学校生活科の授業における幼稚期の教育とのつながりについて学ぶことができる機会となりました。

また、その後の研修会は、幼・保・小の接続の大切さやその視点についての講義があり、自校・園のカリキュラムを見直したり、より良く改善するためのポイントについて確認したりするきっかけとなりました。

研修の最後は小学校と幼稚施設の先生方がそれぞれのカリキュラムを見比べたり、改善点などについて意見交換することができました。

子どもたちの学びの円滑な接続に向けて、『カリキュラムつなぎ』と『先生方のつなぎ』の大切さについて実感できる有意義な研修となりました。

（幼稚施設参加者）

【参加者の感想】

（小学校参加者）
・今日のような情報交換することは、幼保小で連携していくにあたり、とても大切なことだと感じました。

（幼稚施設参加者）
・スタートカリキュラムについて、小学校の先生方と子ども達の姿等を共有したこと、接続する上で気をつけていきたいたことを明確にすることができました。



参加者の情報交換の様子

橋野鉄鉱山の見学



橋野高炉見学の様子

釜石小学校 鉄の学習

屋形遺跡の国指定に向けた動向について



屋形遺跡全景（唐丹町大石）

令和2年7月に文化庁に唐丹町大石に所在する屋形遺跡について

国の指定に向けて、意見具申を行いました。その後、令和2年11月20日、国の文化財審議会文化財分

科会は文部科学大臣に、史跡名勝

天然記念物の新指定にふさわしいと答申いたしました。今後、官報

において告示を受け、正式に国の指定となる予定です。国の指定となれば、橋野高炉跡、三貫島オオミズナギドリ及びヒメクロウミツバメの繁殖地に次いで、市内で3件目の指定となります。

屋形遺跡は学びの場として、公開、活用できるよう整備していく予定です。